

教頭 針谷 勉

学校評価とは、生徒がより良い教育活動を享受できるように、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。本校では、学校評議員を中心とした学校関係者評価、教職員の自己評価、生徒アンケート、保護者アンケート等を実施して学校評価を行っています。ここでは、生徒アンケートと保護者アンケートの結果について報告いたします。（評価の「ＡＢＣＤ」を「４３２１」の４点法に換算して分析しております。平均は2.5点です。）

生徒アンケートについては、どの項目も2.5を大きく上回って、概ね良好な評価となっています。特に評価が高い項目としては、10「私は、校則や社会のルールを守り、挨拶など基本的生活習慣の向上に努めている。」3「足利南高校では、生徒がホームルーム活動や学校行事、部活動などの諸活動に積極的に参加し、協力して学校生活を送っている。」が挙げられ、「基本的生活習慣の徹底」という本校の指導の特色や、「様々な諸活動の実施」、特に今年度は学校祭の実施が高く評価されていると考えられます。また、6「足利南高校では、自分の進路や興味・関心に応じて教科・科目を主体的に選択して学ぶことができ、学ぶ楽しさや充実感がある。」7「足利南高校では、校内の安全と秩序が保たれており、安心して学校生活を送ることができる。」においても平均点が高く、「総合学科の特色」「安全・安心」という領域においても肯定的な評価が得られています。

保護者アンケートについては生徒アンケート同様、概ね良好な評価となっています。特に評価の高い項目としては、4「足利南高校では、自分の進路や興味・関心に応じて幅広い選択科目の中から主体的に選択して時間割を作成することができ、学ぶ楽しさを体験できる。」13「足利南高校に子どもを入学させてよかったと思う。」が挙げられています。このことから保護者の皆様には「主体的に学ぶという本校・総合学科の特色を理解した上で、子どもを入学させてよかった」と満足していただいていると思われます。

アンケートの結果は概ね良好な評価をいただいておりますが、数値には出てこない事柄や課題についてなお一層の改善に向けた取組を進めてまいります。